第３回荒尾駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会　議事録要旨

開催日：令和６年９月13日（金）　9：30-11：00
場所　：荒尾市役所31号会議室
出席者：荒尾駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会委員14名
事務局：都市計画課　：畑田課長、小宮課長補佐、前畑副主任
　　産業振興課　：五藤係長、垂水副主任
　　総合政策課　：中山課長
　　福祉課　　：浦浜課長

議事	内容
第１回協議会の振り返り	・第１回協議会の振り返りを事務局から説明 ・説明に対しての反対意見は特になし ・主な追加意見は以下の通り
ご意見	・**委員：**駅のバリアフリー化というとどうしても駅を向いて議論することが多いが、今回荒尾市では駅からまちに向いて出たところも併せて考えるということで、実際に駅中心にどうやって歩くかというところを見てもらった。万田小学校の５年生にもまち歩きをしていただき、十分な成果が出たと思っている。誰もが暮らしやすい駅前を考えていきたい。
（1）課題と対応方針について （2）実施すべき特定事業等について （3）推進体制について	・課題と対応方針、実施すべき特定事業、推進体制について事務局から説明 ・説明に対しての反対意見は特になし ・主な意見は以下の通り
全体	・**委員：**本バリアフリーの目的は誰もが公共交通に対してアクセスできるようになり、荒尾市が魅力的になることが目的である。 ・**委員：**バリアフリーはハード整備が主な対応策となるが、財源の制約もあるため、優先順位をつけてやっていかなければいけない。 ・**委員：**障がいを持っている方にとって、荒尾駅周辺は不自由だったが、施設や道路などが使いやすくなり、安心・安全に行動できることを願っている。 ・**委員：**バリアフリー等により、荒尾駅や駅周辺が活性化され、近くにお店を出そう、荒尾駅で降りてお買い物をしようという方が増えてくるとよい。 ・**委員：**公共交通の利用促進について環境面を踏まえてどう考えていくか。健康のために歩くという視点やなど、この協議会を通じてさまざまな視点でご意見をいただいている。この会議だけでなく、基本構想策定後も市民目線でその都度ご意見をいただければと考えている。

<table>
<tr><th colspan="2">議事</th><th>内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">荒尾駅</td><td>・委員：駅を改修する際には、利用者の方がどこに課題を感じているかを把握することが一番重要である。
・委員：駅舎については、事業の持続性・継続性も大きな観点が必要で、ただハコモノを作ればいいというものでもない。ボリューム感、メンテナンス費用を総合的に勘案して荒尾駅がいつまでも魅力的で駅周辺が賑わっているようなものにしていくという大きな視点から捉えて対応していくことが重要である。
・委員：駅設備の整備項目だけでも膨大な内容であり、一事業者単独で整備できる規模ではないため、自由通路や駅前広場整備と併せてみなさまのご協力を賜りながらバリアフリー化を目指していきたい。
・委員：駅は整備目標が中期（10 年かかる）となるため、声かけや心のバリアフリー等ソフト面での対策が重要である。
・委員：現在 JR ではソフト対策として、あんしんサポートネットを展開している。事前に連絡をいただければ駅員が向かって乗降の対応をさせていただくサービスもやっている。これを広く告知することでハードが整備されるまでの間、少しでもご利用いただける環境を作っていきたい。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">駅前広場</td><td>交通広場
歩行者広場</td><td>・委員：交通広場は朝や夕方の送迎時間になると、車が何十台も止まっており、乗降のみの利用者がすぐ利用できない状況がある。駐停車禁止などの方法を考えなければ乗降のみの利用者はスムーズに利用できないのではないか。
・委員：現状の駅前は面積が広いため、交通広場を縮めて人の空間と車の空間を分けて整備などの検討を今の段階でやっておかないといけない。</td></tr>
<tr><td>バス</td><td>・委員：ハード整備については、費用も含めた中で優先順位が決まってくる。
・委員：学生だけでなく、高齢の方、障がい者も含めて一緒に出掛けたくなるような、乗り方教室等の啓発活動を実施できればよい。</td></tr>
<tr><td>タクシー</td><td>・委員：乗降客 2,000 人以下の駅でバリアフリーをやっているところは少ないということで非常に注目している。コストパフォーマンスを考慮して最終的なゴールが現実的な形の方が良い。</td></tr>
<tr><td colspan="2">道路</td><td>・委員：まち歩き等の意見は、歩道が傷んでいるという話が多かった。県道は、ここだけでなく管内一円の道路の維持補修を担当しているが、どの程度の改修を行うかを考えていかなければいけない。
・委員：市道についてもどこに整備の重点を置いていくかを考えていきたい。
・委員：舗装の種類が様々であり、メンテナンスできない箇所があると聞いた。今後改善を行い、舗装を統一できるのであれば検討いただきたい。</td></tr>
<tr><td colspan="2">交通安全</td><td>・委員：信号や横断歩道に対する要望は多いと実感した。適切に対応していかなければいけないと思っている。
・委員：信号や横断歩道の設置については、歩行者や事故の実態、利用実態に応じて対応していくことになる。注意して対応していきたい。</td></tr>
</table>